

研究協力をお願い

東京都済生会向島病院では、下記の臨床研究を行います。

研究目的や研究方法は以下のとおりになります。

この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を希望されない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして使用させていただきます。

皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話などにてご連絡をお願いいたします。

研究タイトル：当院におけるロコモサルコペニアフレイル外来の取り組みについて
<ul style="list-style-type: none">・ロコモとは ロコモティブシンドロームの略です。ロコモティブシンドロームは日本語で「運動器症候群」と言います。運動器とは、体を動かす手や足、体幹のことを言います。ロコモティブシンドロームは、運動器が衰え、動きにくくなり、転倒したりしてしまいやすくなることを言います。アンケートやテストによってロコモ1・2・3に分類することができます。ロコモ3が最も重症です。・サルコペニアとは 日本語で「筋肉減少症」と言います。体の筋肉が減少し、転倒・骨折・身体機能低下・死亡などの健康障害に及ぼす危険が高まった進行性かつ全身的な疾患です。・フレイルとは 日本語で「虚弱」と言います。「加齢に伴う能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を示します。要介護状態に至ってしまう前と位置づけられます。身体的・精神的・心理的な問題を抱えやすくなり、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすい状態です。
研究の対象者：当院のロコモサルコペニアフレイル外来（以下、ロコサル外来）に通院していた、もしくは通院している患者さん
研究実施期間：2020年7月1日から2024年9月30日
研究対象者取り込み期間：2020年7月1日から2023年8月31日
研究目的：ロコサル外来の取り組みについて報告するとともにその有効性について検証を行います。
研究方法：ロコサル外来に通院している患者さんについてのアンケート結果や筋力測定結果、歩行速度結果などについて検討します。
プライバシーの保護：この研究で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。
お問い合わせ先 〒131-0041 東京都墨田区八広 1-5-10 社会福祉法人 恩賜財団済生会 東京都済生会向島病院 電話 03-3610-3651 研究責任者 岡里 拓郎（オカリ タクロウ）